



Graduate School of Management
Kyoto University

「日立の事業トランスフォーメーションと 今後の価値創造」へのコメント

2023年10月12日

京都大学経営管理大学院 院長

澤邊紀生



経営改革への取り組み全般について

- 中期経営計画を柱に、目標を明確にして段階的に推進
 - 経営体制の再編・経営基盤の強化
 - 事業ポートフォリオ再編
 - グローバル事業基盤の拡充
 - ガバナンス強化
- 取り組み自体はきわめて手堅い内容に見える

Q1 やりきることができたポイント？

Q2 とくに苦勞されたポイント？

社内カンパニー制→BU制について

- BU制のフロント細分化で市場対応力の向上
- プロダクト事業群で技術力の向上
- プラットフォームで効率性の向上
 - LUMADA：容易に模倣できない競争力の源泉、組織固有の技術力・シーズと顧客ニーズ（と顧客の技術）の効率的な結びつきを実現する仕組み

Q3 LUMADAと自律分散型グローバル経営の関係？

自律分散経営にはプラットフォームが必要？

Q4 BUとしてのLUMADAの位置付け

事業ポートフォリオの見直しについて

- 利益率と成長のトレードオフへの対応
 - BUが利益を守る KPIとしての営業利益率
 - BUをまとめた大きなグループで成長戦略を

Q5 トレードオフへの対応で苦勞されていること？

Q6 LUMADAとの関係？

Q7 自律分散型経営との関係？